

過去最多
エントリー!

昨年の第7回「安全表示・人づくりコンテスト」には、
78社151部署のお客様にご参加いただきました。

参加企業・部署数 第1回 26社26部署 第2回 65社83部署 第3回 86社146部署 第4回 57社89部署 第5回 56社89部署 第6回 51社87部署

第7回(2024年)入賞 16社 ※敬称略

安全表示部門

- 【最優秀賞】 日世株式会社 東松山工場 コーン生産部 管理グループ 品質管理課
- 【優秀賞】 株式会社青山製作所 生産管理本部 物流グループ 物流手配チーム
日本アスコ株式会社 品質保証部門 受入品質管理(IQC)グループ
富士車輛株式会社 環境事業部 環境製造部
マックス物流倉庫株式会社
- 【優良賞】 株式会社明石合銅 総務部 総務課
株式会社サンリッツ 管理部 RCグループ
住友バークライト株式会社 尼崎工場 生産技術部
トヨタ紡織精工株式会社 経営管理部 総務人事室 安全衛生環境グループ
株式会社山電計測 業務部
YKK AP株式会社 安全衛生管理部 安全衛生管理室

職場自主活動部門

- 【最優秀賞】 株式会社青山製作所 生産管理本部 物流グループ 物流手配チーム
- 【優秀賞】 富士車輛株式会社 環境事業部 環境製造部
株式会社明電舎 プラント建設本部
- 【優良賞】 住友化学株式会社 大分工場 岐阜プラント 環境安全課
トヨタ自動車株式会社 衣浦工場 駆動H・EV製造技術部

第1回～第7回の応募作品は、
弊社ウェブサイト「Bepop-Fun」で
ご覧いただけます。



第7回「安全表示・人づくりコンテスト」入賞企業のコメント(抜粋)

安全表示部門 最優秀賞

日世株式会社
東松山工場 コーン生産部 管理グループ 品質管理課 様

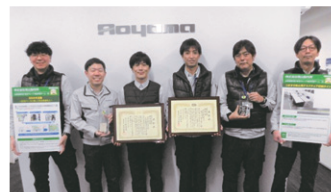
この度は素晴らしい賞をいただきありがとうございます。
過去のノミネート作品集をバイブルに、停電時の不安を解消するアイデアをチームで話し合い、いざという時に役立つヒヤリハット対策が実現できました。この受賞をきっかけに日世グループ全体で安全表示活動を活発化させ、安全な職場作りに取り組んでまいります。



職場自主活動部門 最優秀賞

株式会社青山製作所
生産管理本部 物流グループ 物流手配チーム 様

この度は皆様から素晴らしい評価をいただきありがとうございます。我々は地道な活動の積み重ねの上に“安全職場・注意しあえる職場”があると考えております。この活動をいかに明るく、楽しく、元氣よく継続して行えるかを考えて活動を企画運営するように心がけております。今回皆様より評価いただいたことは今後の安全活動の励みになります。安全には終わりがないので、今後も仲間を守る活動を継続してまいります。



安全表示・人づくりコンテストに参加してみませんか?



お問い合わせ

マックス株式会社 オフィスプロダクツ営業部
安全表示・人づくりコンテスト事務局
E-mail: anzen@mail.max-ltd.co.jp

詳しくは、弊社ウェブサイト「Bepop-Fun」でもご確認ください。

ビーポップ情報サイト「Bepop-Fun」

人づくりコンテスト

検索

URL : <https://wis.max-ltd.co.jp/op/bepop-fun/>



MAX

第8回 安全表示・人づくりコンテスト

ご案内



「安全表示・人づくり」コンテストは、職場の皆でアイデアを出し合って
安全表示の作成や取り組みなどの「職場自主活動」を通じ、働く皆様の
安全意識の向上(人づくり)につなげていただくことを目的に開催しています。

エントリー・
詳細はこちら



エントリーページは、6月16日
よりアクセスいただけます。

第7回(2024年)入賞作品(一部)



第8回「安全表示・人づくりコンテスト」スケジュール

エントリー・作品登録	2025年 6月16日(月)～7月31日(木)
予選投票(WEB)	2025年 8月18日(月)～9月30日(火)
決勝投票(WEB)	2025年 10月14日(火)～11月28日(金)
入賞作品決定・発表	2025年 12月上旬
表彰式兼安全交流会	2026年 1月23日(金)※開催会場未定

▼詳しくは

人づくりコンテスト

検索

職場の皆でアイデアを
出し合った安全表示・取り組み
を募集しています!

安全表示・人づくりコンテスト事務局
E-mail : anzen@mail.max-ltd.co.jp 担当: 齊藤・秋山

コンテストの狙い・目的

コンテスト参加をきっかけに、皆と一緒に職場の自主活動に取り組むことで、ハード対策（機械・設備の安全化）やソフト対策（作業の標準化）ではカバーしきれない人間の不安全行動や機械やモノの不安全状態に気づき、話し合い、ゼロ災に向けた安全意識を高めることが目的です。

募集部門

安全表示部門

職場の皆でアイデアを出し合い
作成した安全表示をご応募ください。

- 弊社プリンタBepopで作成したオリジナルの安全表示物（5S表示、置場表示、管理表示等含む）で、過去に「安全表示・人づくりコンテスト」に応募していない作品に限ります。
- 手書き、パウチ、他社ラベルライターなどBepop以外で作成された表示物、既製品の表示物は対象外です。

エントリーに必要なもの

- ☐ 安全表示が貼られた現場の写真（1～2枚）
- ☐ 作品のタイトル（25字以内）
- ☐ 表示の背景となった「課題」や「安全活動」（150字以内）
- ☐ 「工夫」や「効果」など強調したいポイント（150字以内）

応募例



職場自主活動部門

安全表示以外の職場の自主活動、
取り組みをご応募ください。

- 弊社プリンタBepopの使用有無にかかわらず、どなたでも応募いただけます。
- 例）●危険予知トレーニング(KYT) ●ヒヤリ・ハット活動
●安全活動の定着化、啓発活動 ●デジタルツールを活用した教育
●現場の改善、仕組み化 ●健康増進の取り組み 等

エントリーに必要なもの

活動の内容をPDF形式A4横1枚にまとめたもの
※応募例を参考に以下を記載してください。

- ☐ 活動のタイトル ☐ 活動の背景 ☐ 活動の内容
- ☐ 活動の工夫や効果などポイント
- ☐ 「写真やイラスト」、「グラフ」等

応募例



表彰

各部門【最優秀賞】・【優秀賞】・【優良賞】・【ビーポップ賞】（安全表示部門のみ）

入賞企業様は2026年1月23日（金）開催 安全交流会にご招待！

予選・決勝投票（WEB）を実施し、各部門の入賞作品を決定します。ビーポップ賞は安全表示部門のエントリー作品からビーポップの活用技術が特に高い作品に授与します。

※入賞作品数は未定 ※ビーポップ：ビーポップを使いこなしている人、達人、使い手の呼称

注意事項

●応募は無料、企業や事業所の「係」、「チーム」単位で各部門1作品まで応募可能とします。（同一係や同一チームでの応募は原則各部門1作品までとします。係やチームが異なれば同一部、同一課でも各部門複数の応募が可能です。ただし同一担当者が同一部門で複数応募することはできません。） ●メールや郵送での応募はできません。必ず弊社ウェブサイト専用ページからお願いいたします。 ●応募作品・会社名・事業所名・部署名は、弊社ウェブサイト・冊子・チラシ・雑誌などに掲載し紹介させていただきます。

入賞賞品

- 表彰状
- トロフィー
- 記念パネル

エントリー受付

「Bepop-Fun」専用ページの下記バナーまたはQRよりご参加ください。

ビーポップ情報サイト「Bepop-Fun」

人づくりコンテスト

検索



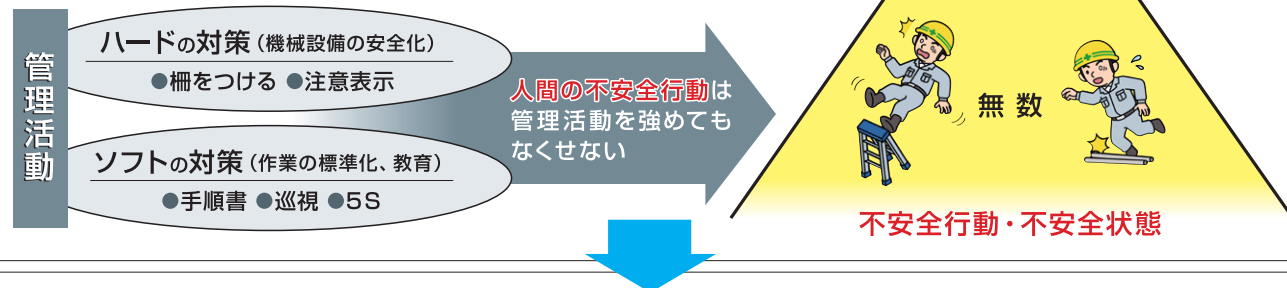
エントリーページは、6月16日よりアクセスいただけます。



労働災害の原因の多くは、人間の不安全行動によるもの

人間の行動特性により人は必ず不安全な行動をとる

非意図的	知識不足 … 知らない、できない 失念 … うっかり	錯誤 … 思い込み、聞き違い 限界 … 疲労、覚えられない
意図的	手抜き … めんどく、少しだけ、 ルール違反 … 多分大丈夫、皆やってるから	



重要なのは「不安全行動をしない」人づくり



コンテスト参加をきっかけに、皆と一緒に職場を活性化させよう！

魂のこもった安全表示で、職場の仲間を守ろう！

こんな安全表示になっていませんか？

- 誰かが知らぬ間に貼った現場が意味を失っている表示
- 統一ができていない課ごとにバラバラの表示
- ネットやカタログで注文した現場に合っていない表示
- よく読まないといけない文字ばかりの表示
- たくさん貼りすぎてメリハリのない表示
- 何年も前から貼ってある周囲と一体化した表示

「安全表示を皆で考える職場自主活動」のポイント

- 全員参加で取り組んでいるか？（メンバー・役割を固定しない）
- いきいき楽しく取り組んでいるか？（アイデアを否定しない）
- くり返し、継続して取り組んでいるか？（活動を仕組み化する）

マックスが提案する「安全表示を皆で考える」活動

- 1 災害発生場所や危険箇所を皆と一緒に確認する
- 2 どんな表示が必要か皆で一緒に考え作成する
- 3 作成した表示を皆と一緒に現場に貼る
- 4 この表示で具体的な行動がとれるか従業員の声を聞く



厚生労働省 安全衛生実証
実証番号：2020-04

厚生労働省「高年齢労働者安全衛生対策実証等事業」とは・・・高年齢労働者安全衛生対策について、厚生労働省が委託する実証機関と有識者が、第三者として客観的に検証（実証）を行い、厚生労働省が結果を公表することで、適切な安全衛生対策の選択・導入を後押しし、高年齢労働者の安全衛生対策の推進を図ることを目的とした事業です。

マックスが提案する 表示を皆で考えて不安全な行動をしない人づくりを行う対策が
厚生労働省の令和2年度 高年齢労働者安全衛生対策実証等事業 で実証されました。

「危険箇所の確認、安全表示の考案、作成、貼付」といった一連の活動を、グループワークで実施することにより、高年齢労働者を含む労働者の安全意識の向上と職場の一体感につながり、不安全行動の発生防止に効果があることが第三者評価によって実証されました。